Hanamaru Monthly Newsletter

花まるだより

07·08
2022

サマースクールより

高濱コラム
卒業生物語
レインボータイム
花まるリビング
おはなしのキッチン
平沼純の旅する読書
アノネ Lounge
Rin コラム
タカラモノはここに
花まるコラム
職人の無人島レポート
花まるファミリー

高濱コラム

2022年7・8月

揺れる父親

「パパゲーノ」という言葉があります。もちろん、モーツァルト『魔笛』の登場人物、鳥刺しパパゲーノにちなむのですが、最近では、その舞台でのパパゲーノのあり方にちなんで、「死にたい気持ちを抱えながら、理由や考えがあって死ぬ以外の選択をしている人」を意味するそうです。そして、この8月20日夜に、NHKテレビで『ももさんと7人のパパゲーノ』というドラマが放映されるのですが、その主題歌から挿入歌にいたるすべての曲作りを担う音楽担当として、我がバンドKARINBAのBUN（田中文久）が抜擢されました。

ちょうど、少数の観客を入れたライブを6月に開催したのですが、そのときに判明して、バンドメンバー全員で大盛り上がりとなりました。BUNちゃんは、私やRIN（井岡由実）のような教育や、KA（平須賀信洋）の建築のような、音楽とは別の主フィールドを持つのではなく、作曲家になりたくて芸大に入り、卒業後もただひたすらに作曲の道を歩み続けていることをわかっていたので、メンバーみんなが自分のことのように「良かったね！」と喜びました。花まるのなかでは、Think!の音楽担当といえば、子どもたちもわかるでしょうから、ぜひご家族で番組を観て、曲を聴いてあげてください。

その番組の曲には、ハーモニカのron（佐藤龍英）も参加することも決まり、バンド内はいつになく沸き立った空気でした。そして、無事ライブも終わり片付けをしていたら、KAの携帯にメールの着信。それは、世界大会まである、とある建築のコンテストの国内大会で全国一位になったという知らせでした。ライブの拍手とともに、突風のような運気がメンバーに押し寄せた一晩となりました。

さて、リアルと言えば、講演会もかなり大人数での開催があちこちで始まりました。そのなかで、遠方で行った大規模な会場での講演は、マスク越しにもみなさんの笑いや涙が伝わってきて、なんて良い交流なんだろうと、あらためてリアル開催の素晴らしさを手応えとして感じました。特に良かったのは、3年ぶりの開催ということもあるのか、感想文にお一人お一人の心がすごくこもっていたことです。一緒に読んだスタッフが、「お手紙のようですね」と言うほどで、いただいた私こそ、揺り動かされ泣いたり笑ったりしてしまいました。

一番多かったのは「夫にも、なんとしても聞いてもらいたかった」というものでしたが、各テーマについての、素敵な報告もあふれていました。たとえば、兄弟姉妹全員に5分でもよいから、くっついてお話をしようという私からの提案については、こうありました。

「小3の長女とぶつかることが多く、難しいな…と感じることが多々あるのですが、下校してきた娘に、ギューしようかって聞いてみると、少し照れながらもニコニコしてきてくれて、学校の話をゲラゲラ笑いながら聞かせてくれました。」（小3女子、小1女子、年少男子のお母さん）

「まずは、一人ずつ時間を取り、くっつきながら目を見てゆっくり会話をしました。そうすると、子どもたちは『今日どうしたの？』と言いつつも、抱きしめるととても嬉しそうで、大切な時間だなと思いました。」（小5男子、小3女子、年長女子のお母さん）

「5年生の娘に、『一日5分ギュッとするか2人でお出かけする？』と聞くとギュッとしてほしいと答え、娘と最近はそういうスキンシップを取らなくなってきたけれど、まだ甘えたいのだなぁという気づきもあり

新刊情報

高濱の本棚

『3～6歳の　これで安心　子育てハッピーアドバイス』

明橋 大二　著、太田 知子　イラスト（1万年堂出版）

多くの子どもや家庭を見てきた、知力と感性にあふれた名医による、専門性に裏付けされた頼れる子育て本群である「子育てハッピーアドバイス」シリーズの一冊。現場の子育て相談に携わり続ける身として、愛情伝達やしつけの失敗が後々響いてしまっているケースが多く、そのポイントになる年齢が、まさにこの3～6歳の時期だと共感する。「自己肯定感」という土台の上に、「しつけ」の定着はあるという根本構造を思い知るだけでも、子育てのタッチが変わるだろう。

『育ちのよさが身につく　おさほうえほん』

高濱 正伸 監修、林 ユミ 絵（日本図書センター）

30万部のベストセラーシリーズ最新刊！「育ちのよさ」はだれでも、いまからでも、身につけられます。5歳からチャレンジしたい、よのなかを生き抜く土台になる「おさほう」のキホンを、ていねいな解説とかわいいイラストで紹介。「なぜ、そうするの？」を納得しながら、学べます。

タコ

小林千尋・ぼよ｜おしとやかで控えめなお嬢さんに一見みえるが、スーパー体育会系のテニス少女。開業医の娘なのに医者にならなかったという意味で私と共通項があり、年齢差を超えて意気投合しました。教育にかける思いはとにかく熱い。

ました。」（小5女子、年中男子のお母さん）

「宿題中に発狂していた次男に、イライラをグッと堪えてギューっと抱きしめることも実践。彼のイライラは治まって宿題にも取り組めました。効果テキメン。笑」（小4男子、小2男子、年少男子のお母さん）

どうでしょう。読んでいる方も心温まりますし、このまま保護者の参考になる事例集ですよね。

夫婦でお互いを自由研究しようというテーマでは、以下のようなものがありました。

「前回の講演後、夫に、『高濱先生の講演を聴いてみて！YouTubeで見られるって先生が言ってたから』と伝えたら、夜中にコソコソ見ているようでした。その動画の中に自由研究の話があったのかなかったのかわかりませんが、最近の結婚記念日や誕生日にはケーキや子どもの写真入りのハンカチなど、以前からは考えられないようなプレゼントを準備してくれるようになり、私はニコニコに過ごして、ちょっとお小遣いも奮発して渡しちゃったりしています。」（小2男子、年中女子のお母さん）

「久しぶりに高濱先生の講演を聴いた夫にも響くものがたくさんあったようです。早速帰り道に、『〇〇のライブ楽しみだね！』なんて会話をしながら帰りました！笑」（小4男子、小2男子、年少男子のお母さん）

こういう報告は、心がポカポカしますよね。

そして、今回の感想で一番考えさせられたのは、あるお父さん（小4男子、小2男子、年少女子）の感想です。A4二枚分、ビッシリと書き込まれた文章は、知的に非常に高いことが伝わるものでした。私の大ファンだったこと、生で聴けて感動したこと、仕事で多くの社会的ひきこもりのご家族と接してきたことなどが書いてありました。どの部分も私自身が参考になるもので、たとえば私の「脳の階層論」については、

「母親のスキンシップによる愛情表現や、父親の肉体的な迫力を伴う一喝は、どちらも原始的であるからこそ生き物としての本質であり、だからこそ今も昔も変わらない育児の大切な基本要素なのだろうと思いました」とありました。

一番感銘を受けたのは以下の部分です。

「夫側も実はケアを求めている部分があるのではないかとも思いました。10年前に始まったイクメンブームにより、世の父親たちは非常に厳しい環境に置かれた気がします。かつては仕事や夜の飲み会に終始していても、男女格差の影響でそれなりに家庭で威張っていられましたが、今はそのような父親に誰も賛同しません。妻だけではなく世間からも白い目で見られるので、いち早く帰宅して育児・家事を担うよう努めます。一方でそのような現代風の父親像に対するロールモデルがない我々令和の父親は、差し当たり育児・家事の面で機能するために、いったん自分の母親を参考としながらそれらに従事します。家事も積極的にこなしますし、子どもの話にも耳を傾け、まさに良き理解者として接するようになります。すると今度は『最近の父親はお母さん化している』『男らしさが足りない』と指摘を受け、再び方向転換を余儀なくされます。おそらく、世の父親たちも自分の立ち位置に混乱し、対応に迷っている部分があるのではないかと思いました。（後略）」

一生懸命話した講演に、保護者のみなさまも心からの声をこうやってくださる。意味ある対話だし、本当にありがたいなと感じました。そして、文化や因習が揺さぶられひっくり返された現代での、「揺れ動く父親像」については、ずっと考え発信し続けたいと思いました。

さあ、夏休み。野外での活動などは、ほとんど縛りもなくなりつつあります。水難などの危険にはアンテナを張りつつ、子どもたちに多くの体験の機会がありますように。そして、パパが大活躍できる夏でもありますように。

花まる学習会 高濱 正伸

花まるだより 2022年7・8月号
（令和4年7月1日発行）

編集・発行	株式会社こうゆう 花まる学習会
発行人	高濱 正伸
企画・編集	久慈 菜津紀
編集	金井 彩・清田 奈甫 坂田 翔・高橋 奈穂
デザイン	春日 梨沙・西野 奈布子
印刷	アークランド株式会社

お待たせしました！

高濱正伸 講演会
「父親だからできること」

日時
10/30 日
10:30 ～ 12:00

会場
花まる子育てカレッジ
（御茶ノ水ソラシティアカデミア 5F）

詳細は花まる学習会からのお知らせをお待ちください。

根本沙織・サリー｜いつでも全力、どんなときでもまわりの人をハッピーにするオーラの持ち主。子どもたち一人ひとりと丁寧に向き合いながら、人材育成にも力を注ぐ。300人規模の全体会議も笑顔で堂々と進行を執り仕切ります。サマーになれば、宿長としても仕事師ぶりを発揮しています。

今どうしてる？ 卒業生物語

花まる学習会・スクールＦＣ卒業生のその後に迫るインタビュー！
第13弾は、新聞記者となって高濱を取材した、伝説の卒業生にインタビュー！

ようこそ先輩!!

黒澤（くろさわ） 亜美（あみ）さん

【花まる学習会】南浦和教室（小3）
【スクールＦＣ】南浦和校（小4～6）
特算・スーパー算数
＊担当教室長：高濱正伸・松島伸浩・仁木耕平ほか
【進路】光塩女子学院中・高等科→早稲田大学
【現在】新聞記者

■花まる学習会の思い出

高濱　花まるに通っていたときのこと、覚えている？

黒澤　小学3年生で始めました。なぞペーと、キューブキューブを覚えています。特になぞペーは、毎回解くのが本当に楽しかったです。

高　どちらも、あと伸びした卒業生たちが楽しかったと語る教材だよ。サマースクールには参加していた？

黒　植物や虫に触れられる、森あそびのコースに参加しました。

高　3年生だと…カレーを食べたことくらいしか覚えていない子も多いよな（笑）

黒　確かに、食事のことをよく覚えています（笑）。私のスクール中の目標は「お箸を正しく持てるようになること」だったのですが、帰るまでにきちんと持てるようになったんです。同じチームの仲間やリーダーが教えてくれて。たった数日で持ち方を矯正できたので、母がものすごく喜んでいました。

高　そんな目標を定めていたとは。普段は甘えてできないことにも本気になれるのは、親元を離れた野外体験の醍醐味の一つだよ。

■スクールＦＣの思い出

高　ＦＣの先生たちの言葉やエピソードで覚えていることはある？

黒　私たちは仁木先生に国語を教えていただいていたのですが、クラスみんなで国語の授業前にその日に受けるテストの答えをカンニングしたことがありました。こっそりやっていたつもりが仁木先生にバレてしまい、ものすごく怒られたことを覚えています。

高　そんなことがあったのか。

黒　仁木先生が涙ながらに本気で叱ってくださったので、心に響きました。「おもしろ半分でやってしまったけれど、これでは塾に通っている意味がない」と、気持ちを切り替えることができました。それまではみんなと一緒に受ける授業が楽しくて遊び感覚の部分もあったけれど、勉強に、受験に、真剣に向き合えるようになりました。

高　仁木先生の本気が、まっすぐ伝わったんだな。特算やスー算（スーパー算数）はどうだった？

黒　厳しかったです。授業中に取り組んだ問題の答え合わせでは、解けた人・解けなかった人が明確にわかるようになっていたので、プレッシャーを感じることもありました。けれど、そのおかげで本気で向き合えたし、解けたときはものすごく嬉しかったです。

高　本気で切磋琢磨できる、いいメンバーだったよな。

黒　みんなと一緒に頑張れたＦＣでの日々は、本当に楽しかったです。

高　甘くない中学受験で「楽しかった」と言えるのがすごいよ。

黒　勉強にも本気だったけれど、遊びにも本気でした。教室で消しゴム野球をしたり、近くの神社にサッカーや野球をしに行ったり。どう遊ぶかも、真剣に考えていましたね。

高　親はヒヤヒヤしていたかもしれないけれど、いまの状況のなかで、あるもので遊びぬくことは、教育的にはとてもいいことだよ。

■あなたにとって、花まるとは

黒　勉強が好きになったのは…少なくとも嫌いにならなかったのは、絶対に花まるのおかげです。

高　嬉しいよ。

黒　中学に入学したばかりの頃は、勉強についていけなくて悩みました。でも、花まる・ＦＣで培った土台と負けず

榊原悠司・バラ｜箱根駅伝出場を夢見て青山学院大学に進学。陸上経験ゼロから練習生を経て、二年目には入部を認められました。原監督から努力の価値も人間力の大切さも学び、花まるでは最年少のブロック長に。「あ、行きまーす」と言って10kmを走ってくる男で、今年からは東京東ブロックの先頭を走っています。

嫌いの精神で、乗り越えることができました。中学受験だけでなく、その先の人生でも勉強が好きでいられたことは、本当によかったと思います。

高 それが花まるグループの目標だからね。学びに対して前向きな人生を歩んでくれて、本当に嬉しいよ。

■おじいちゃんの紙芝居

高 亜美といえば、「おじいちゃんの紙芝居」のエピソードだよな。

黒 私が小学4年生くらいだったと思うのですが、母方の祖父の75歳をお祝いしようとしていたタイミングで、祖父が「体調が悪い」と親戚一同を集めたことがありました。心配して駆けつけると、祖父の人生を描いた手作りの紙芝居を披露されたんです。体調のことは、「こうでも言わないとみんな集まらないだろう」と考えた祖父のイタズラでした。

高 ある程度強引にやらないと、親戚全員を集めることは難しいよな。紙芝居には、生まれてからの人生すべてが描かれていたの？

黒 はい。戦時中、空襲のなかを走って逃げたことも描かれていました。私の知らない祖父の姿に驚いた場面もありました。涙ながらに聴いている親戚もいるなかで、母は呆れた様子で大爆笑していました。

高 はははは（笑）。親戚全員を集めて紙芝居で自分の人生を語るなんて、ものすごくキュートでイケてるよね。これからのおじいちゃん・おばあちゃん世代の人たちにぜひ知ってほしい方法だよ。

黒 祖父は医者だったのですが、紙芝居とは別に、病院の方々が作ってくださった祖父のことが書かれた冊子もあります。祖父は私が中学1年生のときに亡くなって、もうちょっと話しておきたかったと思うこともありますが、そんなときにこの冊子を開くと、こういうおじいちゃんだったんだなぁと感じることができるんです。

高 おじいちゃんがあって、いまの亜美があるんだな。本当に素敵なおじいちゃんだよ。

■お母さんの存在

高 お母さんは、亜美にとってどんな存在？

黒 ベストフレンドです。よく「同級生だとしてもきっと仲良くなったよね」と話しています。

高 母と娘の理想の姿だな。共通の趣味はあるの？

黒 母が宝塚ファンなので、いまでも一緒に観に行っています。

高 もしかして、出待ち組？

黒 そうです！（笑）毎晩のように深夜まで仕事や恋について語り合ったりもしています。

高 いい関係性だね。亜美の心の安定は、お母さんとの絆にあったのか。

黒 高濱先生を取材したとき、「母は心の安全地帯」とおっしゃっていましたが、本当にその通りだと思います。いまもいろいろなことに挑戦できているのは、母がいてくれるからだと思っています。

■新聞記者への道

高 まさか亜美に取材されることになるとはなぁ。公開された記事を読んで「感動しました」って感想が続々と届いているよ。

黒 本当に、ありがとうございました！

高 新聞記者という職業を選んだ理由は？

黒 小学校の卒業文集で「新聞記者になりたい」と書いていました。中学受験のための勉強の一環で新聞を読むようにしていたのがきっかけで、当時は「かっこいいな」くらいの気持ちで書いていたと思うのですが。子どもの頃から本が大好きだったので、文章にかかわる仕事をしたいと思っていました。

高 どんな記者になりたいの？

黒 話を聴くだけでなく、議論ができる記者になりたいです。勉強不足で踏み込んだ話ができず、自分のふがいなさに落ち込むこともありますが、いろいろな世界に触れることができるとても楽しい仕事だと思います。

高 負けず嫌いな亜美だから、どんどん力をつけていくだろうな。頑張って、期待しています！

黒 ありがとうございます！

これまでの卒業生物語は、こちら！▼

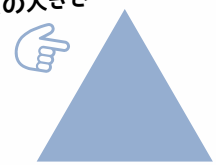
真島健一郎・マジケン｜キンダーという会社出身という意味で、同窓生です。かつ、幼児から受験生までオールラウンドで見られるし、サマースクールが大好きで花まるグループの全体を見渡せる、数少ない一人です。

家族みんなで花まるタイム♪

今月のレインボータイム

出題：坂田 翔（花まる学習会）

すべて
この大きさ



【さんかくかさね】

同じ大きさの三角形の紙を重ねて模様をつくりました。
どの順番で紙を置いていけばそれぞれの模様になるか考えて、
空欄にひらがなを入れて答えよう。

解答は
こちら！

レベル 10

あ → □ → □ → □ → お

レベル 30

□ → □ → □ ↘
う
お ← □ ← □

レベル 50

□ → □ → □ → □
↓
く ← □ ← □ ← □

レベル 70

□ → □ → □ → □ → □
↓
□ ← □ ← □ ← □ ← □

小幡七海・じゅげむ｜忘れもしない、大阪でのこと。落語を日本の教育に取り入れたいと熱弁を振るう若い女性。聞けば学校の先生とのこと。まさかと思っていたら、本当に花まるに入社しました。落語は私も大切にしていること。応援したいと思います。

花まる教室長がお届けする
子育て奮闘記

花まるリビング

15

勝谷 里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、3児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんすう初級』（学研プラス）ほか。

宿題バトル経過報告　～子どもを見る眼の解像度を低くしてみる

昨年の秋、私が産休・育休に入ったことにより、二年生の長女が学童保育を退所。家で過ごす時間が増え、勃発したのが宿題バトルです。学童でしていた宿題を家ですることに。たいした量ではないしリズムをつかめば大丈夫、と高を括っていたら（なんで、こんなに宿題をやりたがらない!?）と驚愕の事態が半年以上続いています。

反省①「帰ったらすぐ宿題」というルールにしたかったが「友達と遊べない」「習い事の前にテレビを見たい」などの要求に根負け。弟の迎えもあるし（夜でいっか）と基準をぶらしてしまった。

反省②寝る時刻を伝え、開始時刻は本人に任せる作戦。弟や妹がぐずぐず言い始める時間にようやく開始。本人も疲れているので「ママがランドセルあけてよ！」と怒り始める。「自分のことは自分でやるよ」と穏やかに返すのは二回が限界、三回目には怒り爆発。このあたりで本人にとって「宿題＝いやな時間」になってきた、まずい、軌道修正したいと思うが毎日繰り返し。悪循環。

あるアニメで母が「宿題やったの!?」と息子を怒るのを見て、以前の私は「子どもに宿題＝いやなものという先入観を植えつけてしまわないかなぁ」など呑気に考えていたのですが、いまなら母の気持ちがよくわかります。毎日、やる・やらないの子どものペースに巻き込まれるのが、本当につらい。

打開策としては、親側の「無の境地」「凪の気持ち（カッとしない）」それに加えて、「宿題をやる時間＝ハッピーオーラの漂う時間」を演出していくことでしょうか。私がイライラしていると、それが子どもに伝わりますます意固地になる。親が宿題の時間にわくわくして見せることで、少し取り掛かりはよくなりました。

だけど。

「どうして、私がこんなに毎日、わくわくを演出しなくてはいけないの」と叫びたくなることもあります。（この時点で、大人の〝わざと感〟は子どもに伝わりますよね。）悪循環は抜け出せません。

そんなとき、学校の面談がありました。

私「宿題に文句が多い」

先生「学校では素直ですよ」

私「宿題をするときの姿勢が悪い」

先生「注意するほどではないですよ」

など、受け止めてもらえて、ちょっとすっきりしたあとで気づきました。

――あれ？私、「宿題をしない場面」に焦点をあてて、ピンポイントでできていないことばかり数え上げていたかも。カメラでいうと「宿題をしない」にズームしていって、解像度の高いカメラで連射して、細かいことをあげつらっている感じ――

どうやら、近づいて見すぎていたのかもしれません。解像度高く子どもを見ることも大事ですが、「心の平穏が保てないかもしれない」と思ったら、あえて一歩引く。「ぎりぎりまで宿題に取り掛からず、姿勢が悪く、雑な字で宿題をやっている子」ととらえるのではなく、あえて解像度を低くして、「宿題をやっている子」とだけ認識するというのも一手かもしれないな、と発想の転換をすると、気持ちは楽になりました。

『やらなければならないことをすっとやれることが大人になってからも大事』というのは、花まるでもよく伝えていることです。だから、私も「宿題やりなさい！」とやっきになっていましたが、目指すゴールまで、てくてく直進していける子もいれば、山あり谷あり紆余曲折で進む子もいる。優劣をつける必要はなく歩き方が違うだけ、と思って、母である自分の心を穏やかに保てる方法を選んでいこう、と思った事例でした。

『しゅくだい』
いもと ようこ　文・絵
宗正 美子　原案
（岩崎書店）
「学級文庫にあったよ～」と娘が教えてくれた本。「抱っこ」の宿題が出るお話。抱っこさせてくれるのはあと何年かな、と思いながら読んでいます。

『しゅくだい、なくします！』
ごとう りゅうじ　さく
さとう まきこ　え
（ポプラ社）
宿題に向き合っているのは（もがいているのは）自分だけじゃないんだよ、でも、みんな頑張っている、とそっと伝えたくなる本でした。子どもの頃に読んだ、作者の別のシリーズ『キャプテンはつらいぜ』も大好きでした。

町田光優・まっちー｜花まる学習会とアノネ音楽教室を兼任している、大人気先生。常に「本当にこれでいいのか…」と哲学する男でありながら、一方で舞台に立てば、合唱に、ボイパに、お笑いにと、マルチな強みを炸裂させるタレントです。

おはなしのキッチン vol.3

作者オルコットの自伝的小説とも言われている、アメリカ児童文学の不朽の名作『若草物語』。優しく美しい長女メグ、活発で男勝りな次女ジョー、穏やかな三女ベス、甘えん坊の末っ子エイミー。19世紀後半のアメリカを舞台に繰り広げられる、魅力的なマーチ家の四人姉妹の物語は、時代と国境をこえて多くの人々の心をつかんできました。

物語の背景にあるのはアメリカ南北戦争（1861～1865年）で、姉妹たちの父親は黒人奴隷解放のため従軍牧師として出征しているという設定です。たくさんの人の命が失われ、日々の生活でもさまざまな不便がある過酷な時代…。しかしそんな時代のなかでも、思いやりや想像力を大切にして生きる彼女たちの姿からは、「物質的な豊かさは人の幸福を約束しない」という力強いメッセージを感じることができます。

「雲の向こうにはいつも青空が広がっている（There is always light behind the clouds.）」とは、作者オルコットの言葉。ぜひこの物語をひも解いて、困難な時代でも前向きに進むためのヒントを得ていただければと思います。

そんな『若草物語』にはたくさんの魅力的な食べ物が描かれますが、ひときわ印象的なのが、末っ子エイミーの学校で皆が食べるライムのピクルスです。

「いまは、もうなんといってもライムなの。みんな、授業中にも机の陰でしゃぶってるし、休み時間には鉛筆やビーズの指輪や紙人形や、ほかにもいろんなものと交換するの。好きな子がいたら、その子にライムをあげるの。大嫌いな子には、わざと目の前で食べてみせて、ひと口もあげないの。みんなでかわりばんこで、おごりっこするの。」

（ルイザ・メイ・オルコット作・海都洋子訳『若草物語』岩波書店より）

原文では「pickled limes」とあり、塩漬け、酢漬けなどの解釈が可能なライムのピクルス。とはいえ、少女たちが夢中になって食べている様子からも、砂糖などで甘く味付けしたピクルスであったのは間違いありません。

ピクルスは野菜に限らず、さまざまな果物でも作ることができます。ビタミン豊富で見た目にもあざやかなフルーツ・ピクルスで、さわやかな味と香りをお楽しみください。

ちなみに、ライムの原産地はインドからミャンマー、マレーシア一帯の熱帯地域。そのため、インドではいまでもピクルスのほか、「チャツネ」という名のペースト調味料などにもライムが使われているとのこと。こちらも、どんな味なのか気になるところです！

平沼　純

PICK UP

『若草物語（上・下）』
ルイザ・メイ・オルコット　作
海都 洋子　訳
（岩波少年文庫）

スクールＦＣ
平沼　純

ライムのピクルス

recipe

作業時間：30分　難易度：★☆☆☆☆

レシピ・写真提供：料理家 江口 恵子（natural food cooking）

材料

- ライム……3個
- きび砂糖……ライムと同量（約250g）
- りんご酢……50cc
- 水……100cc
- 塩……小さじ1/2
- 粒黒コショウ……10粒
- カルダモン……2粒
- 月桂樹の葉……2枚
- シナモンスティック……1本
- クローブ……5粒

作り方

①ライムはきれいに洗って水けを切り、しっかり拭いたら、8等分のくし切りにする。重さを量り、同量のきび砂糖を用意する（今回は小さめのライム3個で245g）。
②小鍋にきび砂糖と水、塩、スパイス類を入れて火にかける。沸騰したら火を止めてりんご酢を加え、粗熱を取る。
③煮沸消毒またはアルコールで消毒したガラス瓶に、①のライムを入れ②を注ぐ。1週間～10日置けば完成。

＊そのまま食べるのはもちろん、皮ごと細かく刻んでカレーに添えたり、キャロットラペや、冷製パスタに加えたりするのもおすすめです。シロップは水や炭酸水で割って飲むと、大人っぽいレモネードのような味わいを楽しめます。

タコ

島村有香・しまむー｜花まるの教室長であると同時に、声優としても活動中。「まいにち花まる」でもその声を聴いた人は多いのではないでしょうか。彼女の読み聞かせは、声のプロフェッショナルならではの世界を作り上げ、子どもたちをウットリさせています。

平沼純の 旅する読書 Vol.36

2022年の夏 ～祭りがはじまる～

『世界一おもしろいお祭りの本』

ロブ・フラワーズ　著
北川玲　訳
八木百合子　監訳
（創元社）

神を讃える祈りや密教由来の舞踏、人外のものになりきる仮装…。アジアやヨーロッパ、南米など世界各地の知る人ぞ知る祭りの数々を、カラフルで大胆なイラストで紹介する遊び心たっぷりの一冊。男鹿のなまはげや悪石島のボゼなど、2018年にユネスコ無形文化遺産に登録された日本のお祭りも掲載されていて、多様な世界を知る一助になります。

『祭り囃子がきこえる』

川上健一　著
（集英社）

祭り囃子にまつわる、ある忘れられない「記憶」を秘めた主人公たち。「ヤッテマレ」「ジョヤサノ」「ハァーイーヤァ」など、それぞれの祭りのかけ声をタイトルにした8篇を収録したハートウォーミングな短編集。ひも解けば、忘れていた自分自身の「祭り」の記憶、かけがえのない思い出も呼び覚まされるかも。ちなみに、スクールＦＣの小6総合コース2学期で使う読解教材に、この中の一話が使われています。

『夏のくじら』

大崎梢　著
（文藝春秋）

高知に引っ越してきた大学生の篤史は、ひょんなことからよさこいチームに入って祭りへの準備を進めるとともに、数年前に知り合った謎の女性を探し出そうとします…。熱気あふれる夏のよさこい祭りの情景を背景に、人々の躍動感や息遣いまでもが行間から伝わってくるような、「日常の謎」的なおもしろさもある青春群像劇。夏に読むのにうってつけの、読後感が非常に爽やかな一冊。

『新版 祇園祭』

田島征彦　作
（童心社）

京の町に夏が近づくと聞こえてくる、力強くも悲しげな太鼓や笛の音。「こんこんちきちん、こんちきちん…」およそ1100年前に疫病退散のために始まり、いまに至るまで受け継がれている祇園祭の壮麗な情景が、『じごくのそうべえ』や『ふしぎなともだち』などでも有名な田島征彦氏の味わい深いイラストレーションで表現されています。第6回世界絵本原画展金牌受賞作。

『メキシコのおはなし おまつりをたのしんだおつきさま』

マシュー・ゴラブ　文
レオビヒルド・マルティネス　絵
さくま ゆみこ　訳
（のら書店）

昼間におつきさまが見えるのは、おつきさまが前の晩にお祭りを楽しんだから…？メキシコ南部のオアハカ地方に伝わる民話を、現地在住の画家による鮮やかな水彩画で絵本化した、海外でも高く評価された一冊。モヒガンガ（巨大な人形）、パペルピカド（鮮やかな飾り）など、メキシコの祭り文化を紹介する巻末の解説も魅力的。

9月 〈第5回〉時の彼方の「ヒーロー」たち ～子どもの本で知る古の英雄～

誰もが知っている「あの人」から、知る人ぞ知る歴史上の英雄まで。心ひとつでふわりと想像の旅に出て、時のむこう側にいる人たちに会いに行きましょう。社会科教育のプロフェッショナルによるミニ講座は、「すごい戦国武将」がテーマです。全国の歴史好きはもちろん、歴史についてもっと知りたい人も集まれ！

9/22（木）・9/24（土）10：30 ～ 12：00
参加費　一家族500円（税込）
申込締切　開催前日の19：00

全国から参加可能！

小林駿平・スティック｜花まる×公立小の成功事例となった、長野県の北相木小学校の校長先生の次男。入社当時不憫なくらい痩せていた彼も、素晴らしい奥さんと結ばれてから、運気上昇。今や、オンラインブロックの長として、新しい教育を開拓しています。

セルゲイ・プロコフィエフ

1891-1943　ロシア

vol.36

アノネ ラウンジ Lounge

アノネ音楽教室の作曲家の人生を辿る伝記教材『おぺら』の一部をご紹介！クラシック音楽の作曲家を毎回一人取り上げて、名曲が生まれたストーリーに迫ります！

プロコフィエフ

1891年 4月 23日、ロシア帝国の西のはずれにあるのどかな街で、一人の男の子が生まれました。小さい頃からピアノで遊ぶのが大好きで、5歳になると作曲まで始めます。13歳で有名な音楽学校「ペテルブルク音楽院」の入学試験に見事合格。「彼こそ、私の求めていた生徒だ！」ロシア 5人組のリムスキー＝コルサコフがそう言うほど才能にあふれたその少年の名は、セルゲイ・プロコフィエフ。後に世界中で有名になる音楽家です。

音楽院で勉強を始めたプロコフィエフでしたが、ほとんどの授業は退屈でたまりませんでした。けれども、ドビュッシーやスクリャービンなどの新しくて独特な音楽の授業には夢中になりました。「どこにもない、新しい音楽を作りたい！」プロコフィエフが曲を発表すると、素晴らしいと認める人と、めちゃくちゃだと言う人で意見が分かれました。音楽院を卒業した 23歳のとき、お祝いのヨーロッパ旅行で出会ったのが、有名な芸術プロデューサーのディアギレフです。ディアギレフはプロコフィエフを気に入り、バレエの曲を作ってほしいと頼みます。けれどもこのとき、ヨーロッパは第一次世界大戦という戦争の真っ只中。ディアギレフとはしばらく会えなくなってしまいました。プロコフィエフは約束の曲を作りながら、ピアニスト、指揮者、作曲家として、ロシアで大活躍します。

1917年、ロシア革命が起こると、ロシアは混乱の時代を迎えます。プロコフィエフは、外国での活躍を夢見て、いったん国を出ることにしました。最初の目的地アメリカに行く途中、日本に立ち寄ったプロコフィエフ。京都や奈良を見物したり、東京と横浜でピアノリサイタルを開いたりして、日本の音楽家たちに大きな刺激を与えました。

『ロメオとジュリエット』組曲第２番

Op.64（1935-1936 年）

アメリカやヨーロッパを巡った後、プロコフィエフはロシアに帰ってきました。このころロシアは「ソ連」と名前を変え、国の体制も大きく変わっていました。「わが国のすばらしい音楽家が帰ってきた！」と大歓迎されます。

「きみはもっと、わかりやすい曲を書くべきだよ」。かつてディアギレフにそうアドバイスされたプロコフィエフ。世の中にない新しい音楽ではなく、多くの人に理解される音楽を作ろうとするようになっていました。子どもの劇のための曲『ピーターと狼』や、いまでは 20 世紀最大のバレエ音楽と言われる『ロメオとジュリエット』は、人々から拍手で迎えられます。

けれどもその頃、ソ連ではどんな曲でも自由に発表できるわけではありませんでした。音楽を政治に利用しようと、政府が音楽家たちを監視していたからです。戦争と厳しい監視のなか、プロコフィエフはそれでも懸命に作曲活動を続けていくことになります。

ロメオとジュリエットを聴いてみよう

https://www.youtube.com/playlist?list=PL7kd0pC6w0ucOxb6xRttYKpIsuzalWxRO

編集：佐藤 泉純（アノネ音楽教室）

加藤崇彰・カトパン｜慌てん坊で泣き虫。北海道の牧場で数年鍛え上げて、花まるに入社。即、無人島責任者。動画センス輝き、ヘビをも恐れぬ勇気と疲れを知らぬ行動力で、冒険島を整備・建築中です。子どものかわいさに触れるとすぐ泣いてしまう、愛情あふれるナイスガイでもあります。

こころと頭を
同時に伸ばす
幼児期の子育て

Rinコラム 37

「それはダメ」と決めつけない

「えっ、それは…（いいの）！？」
「ちょっと待って、あ…（ダメ）！」
親子で一緒に創作するワークショップでのこと。そばにいる大人たちから思わずもれた言葉です。

「Ｒｉｎせんせい、これはまちがいですよね」
「あ、ダメじゃない、（先生が）拭いてあげる」
保育園や小学校で出張授業をしていると、子どもたちよりも先に大人たちから、言葉が聞こえてきます。

「こうでなくっちゃ」と考える大人と違って、子どもたちは「ああでもあるし、こうでもある」という視点を自然に持っている存在です。「必ずしも答えはひとつではない」という見方を持っているかどうかは、子どものそばにいる大人にとって、とっても大切な視点です。

「そうだね、それもいいアイディアだね」
「いいね、やってみてごらん？そうしたい、と思ったんでしょう？」
いつものように、子どもたちに答えていく私の言葉を、同じ空間で聞いていた大人の方から、驚きの言葉をたくさんもらいました。

＊

「隣で子どもが楽しそうに作品を作っているのを見て、思わず「あ！」とか「え？」とか言ってしまいそうになるのに、少し遠くのＲｉｎせんせいがそんな短い言葉が出るより早く、「いいね！」「そうだね！」とこころが前向きになるような、あるがままを受け入れる言葉をかけてくださっていて、子どもたちがどんどん前向きになる理由がわかりました。すごく楽しくて、たくさん褒めてもらって、子どもに戻ったような最高の日でした！」母

「やってみると、予測がつかない、何ができるかわからない。こうじゃなきゃいけない、っていうのがなくて。思ったことを口にすると、先生が同調するやりとりが、嬉しくて心地良かったです」母

「こうやらなくっちゃいけない、と思い込んでいたのかもしれません。頭が固くなっていて、思いつきもしないことを子どもがやるのを見て、それは間違いだと思ってしまって」保育士

＊

「そこで止めれば、きれいに仕上がるのに」というのは大人の感覚です。「きれいな」色、というのは、大人の勝手な価値観を押し付けているに過ぎないのです。

大人は、知識や経験がある分、どうなるかがわかっている。しかし、子どもたちにとっては未知の世界。「こうしたらどうなるのだろう、もっとやってみたい」その結果、作品としての〝見た目〟は、ぐちゃぐちゃに見えるかもしれません。それをみたお母さんたちは、苦笑い。

けれども、よく見てください。子どもたちの表情は満たされて、すっきりしているのです。

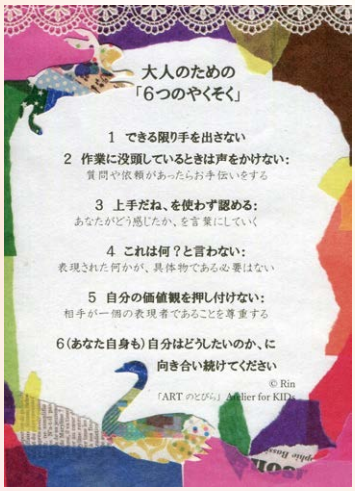
こころのままに手を動かし、その瞬間の素直な感情を表現できること。自分がどうしたいのか、何を探求したいのか、何がおもしろいと思うのか、自分に聞けば答えは必ずわかるのだという体験を積み重ねること。

他人の意思ではなく、自分の意思で自分の心を満たす、自分で決める。その経験に大きな価値があるのです。

その環境を守ってあげられているだろうか。私たち大人がその重要性に気づき、彼らを、彼ら自身の人生を歩んでいく一個の表現者であると尊重するために、「自分の価値観を押しつけてはいないだろうか」と、折に触れて自問自答したいなと思うのです。

大人になったときの彼らが自分というものを知り、自分で選択しその生き方に誇りを持って生きていけますように。

Ｒｉｎ（井岡 由実）



全国から参加可能！

オンライン親子 Atelier for KIDs

8/21（日） 10:30 ～12:00　和紙deランプ

参加費　親子２名で 4,300 円、
1名追加につきプラス 1,300 円
（税込・材料郵送費込）

定員　年中～中学生 親子15 組（抽選）

申込締切　8/3（水）19:00

https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php

Rin（井岡 由実）

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会年中・年長向け教材開発に携わり、冊子『１年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』（実務教育出版）ほか。

RinせんせいのSNS
ARTのとびらYouTubeなど
すべてのリンクは
こちらから▶

野澤直紀・ごんべえ｜やらされ感なく、らんらんと目が輝く。現場が好きで、子どもたちが好きで、この仕事に賭ける本気が伝わります。最近いそうでいなかった、芯が熱い若者。考え続ける彼の発案で、「新人が高濱にフランクに質問できる『野澤タイム』」を確立しました。

タカ

タカラモノはここに vol.4

by 山崎 隆

わからない

中学生の頃、ある日ラジオからこんな曲が流れてきました。

夏が過ぎ　風あざみ
誰のあこがれにさまよう

美しい曲だな、と思いました。言わずと知れた井上陽水さんの『少年時代』です。その頃は知らない言葉を歌詞から覚えることが多い時期でした。「風あざみ」という言葉を調べたのですが、辞書には載っていませんでした。結局わからないままでしたが、何となく夏の終わりのさみしさが伝わってくる言葉だなと思いました。

実はこの「風あざみ」という言葉は井上陽水さんの造語だったのです。それを知ったのは、十年以上も後のこと。新しい言葉を紡ぎ出し、万人にその情緒を伝えてしまう井上陽水さんは、まるで万葉時代の歌人のようだと思いました。

「わからない」ということに関して、先日おもしろい光景を見ました。私のクラスに在籍している一年生のAくん。彼はいつもニコニコと楽しそうに授業を受けています。ある日、そのAくんからこのような声が聞こえました。「えー、これわからないなー」。思考力教材の『なぞぺー』を解いているときのことでした。しかしAくん、そんなときでもいつも通りのニコニコの笑顔です。笑顔のまま「わからないなー」と言いながら、背中を丸めたり伸ばしたりして、目の前の問題を粘り強く考え抜いているのです。

そんなAくんを見ていて、気がつきました。人間には本来「わからない」ことを楽しむ力があるのでしょう。「わからない」から「わかりたい」、その不安定なプロセス自体が人間にとって楽しいものなのです。「どうしてわからないのか？」と問い詰められることがなければ、子どもたちはずっとその状態を楽しんで考え続けることができるはずです。

とは言え、「わからない」ことでストレスを感じることがあるのも事実です。時間など、状況に追われる環境にあるときにストレスを感じるのは当然ですが、そうでなくても「わからない」不安定な状態を苦痛と感じることは誰にでもあります。仕事のこと、家庭のこと、友人のこと、社会のこと…人生には「わからない」問題が常に付きまといます。

こういった「どうにも答えの出ない、どうにも対処のしようがない事態」に耐える能力として「ネガティブ・ケイパビリティ」という概念があることを最近知りました。作家で精神科医でもある帚木蓬生さんは『ネガティブ・ケイパビリティ　答えの出ない事態に耐える力』（朝日新聞出版）の中で、このように書いています。

「私たちは『能力』と言えば、才能や才覚、物事の処理能力を想像します。学校教育や職業教育が不断に追求し、目的としているのもこの能力です。…ネガティブ・ケイパビリティはその裏返しの能力です。論理を離れた、どのようにも決められない、宙ぶらりんの状態を回避せず、耐え抜く能力です。」

昨今の社会状況に鑑みてもそれは言えます。容易に答えが出せず、個々人によって考えが変わる問題を突きつけられながら私たちは生きています。答えなど無いなかで考え、それに耐え抜く力が、生きていくうえでは必要とされているのです。それはいまに限ったことではなく、過去も大きく変わりませんでした。古典を読めばわかります。『百人一首』でも『方丈記』でもいまと変わらぬ、生きることへの苦しみを読み取ることができます。子どもたちが教室で読んでいる古典が、大人になったときの悩みに耐える力の根拠になっていくことでしょう。

誰にでもあるイヤな思い出。最近では「黒歴史」として封印してしまうこともあるようですが、その苦味もまた、成長には不可欠です。夏休みはその貴重な経験の場を提供してくれます。普段できないことや、日常では会えない人たちと、良い思い出も苦い思い出も、たくさんつくることができます。

夏祭り　宵かがり
胸のたかなりに合わせて
八月は夢花火　私の心は夏模様

『少年時代』は続きます。「わからない」ことへの期待と不安、この歌詞を聞くと少年時代のドキドキとした感覚がほのかに甦ってきます。そんなたくさんの「わからない」経験がこの夏もきっとあることでしょう。夏休みが始まります。

花まる学習会　山崎隆

山崎　隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、だだっぴろい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を開いては恐竜のいる世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的もなく出かけることを楽しみにしている。

花まるコラム

2022年7・8月

真剣勝負のその先に

スタッフとして参加した野外体験で、花まるサムライ合戦をおこないました。子どもたちは刀を持ち、太ももには命の代わりの紙風船を装備し、サムライになりきります。敵を全員討ち取るか、総大将を討ち取れば勝利。最終的に一番多く勝利ポイントを獲得した軍が天下統一＝優勝です。

激戦の2日間を終えて、3日目の最終戦。子どもたちだけが参戦する「子ども総大将戦」がおこなわれました。私の軍の総大将は、5年生のIでした。人柄は柔和で誠実。非常に頼りになる存在です。Iと仲の良い6年生TもIを信頼していたため、Iが総大将になることに賛成していました。

これまでの経験を活かし、総大将を守りながら戦う子どもたち。そして終盤に試合が動きます。なんとTが敵の総大将を討ち取りました！大きなポイントが入り、順位は1位に。

「よっしゃー！」

天下統一に向けたチャンスを手にし、子どもたちは拳を高く上げました。しかし、ここでホイッスルが響きます。なんと、Tが敵の総大将を討ち取る直前に、総大将Iが敵軍から逃げている最中に転んでしまい、自分の風船を割っていたのです。総大将の風船が割れた軍は、敗北。つまり、Tが総大将を討ち取ったこと自体が「無し」になりました。

合戦は終了し、別の軍が天下統一を果たしました。そこには、試合を終えた子どもたち同士の、お互いに健闘を称え合う姿がありました。全力を尽くした結果を素直に受け入れ、笑顔で前を向く姿に、大きな成長を感じました。

迎えた最終日。作文を書く時間に異変がありました。あと一歩で敵将を討ち取ったはずのTが、総大将Iが転んで負けてしまったことを思い出し、あふれる怒りと悔しさを堪えるように泣いていました。Tを別室へ連れて行くと、畳んである布団に顔を埋めました。

「悔しい気持ちはわかるよ。本気だからこそ悔しいんだよな。でもTが総大将を討ち取ったのは、すごかった。Iが転んじゃったことも同じだよ。Iが総大将として責任を持って全力で戦っていたからだよ。もしTが総大将でも同じことが起きたかもしれないよ」

そう話すと、

「俺だったらそんなことは絶対しない!!」

Tが怒りを込めた強い口調で言いました。

「俺だったら…俺だったら…！　あいつが転ばなければ、俺が総大将を倒して逆転できたのに！　最後のサムライ合戦なのに！　俺はいつもこうなんだよ！　いいこと一つもない！　人生最悪だよ…」

Tの負の気持ちが次々に噴き出します。このままでは埒が明かないと思い、Iの言葉が必要だと考えました。Iを呼びに行き、Tのことを伝えました。Iは「Tと仲直りしたい。でもTが怒っていて話しかけられない」と言うので、二人でTのもとに向かいました。

Iが Tのいる部屋へ入ります。しかしTの表情は変わりません。

「リーダーは、Iがこの軍の総大将として一番適任だったと思っている。でもIはTとこのまま終わりたくないんだ。だからIからTに謝る。それは、仲直りのためだ」

Tをじっと見つめ、

「総大将なのに、転んで負けてしまってごめん」

Iは迷いなく謝りました。少し沈黙が流れます。どうなるか、これで良かったのか、いろいろな気持ちが渦巻きます。そして、Tが口を開きました。目には力が入りながらも、泣き疲れてちょっと枯れた声でした。

「来年は勝てよ」

TがIにバトンを託した瞬間。私はTの内に秘めた熱い気持ちとIを想った優しさに触れられたことがとても嬉しく、最後には3人で泣きました。班のメンバーで集まると、もういつもの自然な笑顔に戻っていました。

「もめごとはこやし」

野外体験では、こういったさまざまな葛藤を乗り越える場面がいくつもあります。それは何ものにも代えがたい経験として、大きな心の糧になると私たちは信じています。改めて、花まる学習会が教育理念として掲げている「魅力あふれるモテる人」「メシが食える大人」を目指して、たくましい心を育てていく教室長でありたいと思いました。

花まる学習会　町田 光優

鈴木和明・シドニー｜入社当初、彼が丸坊主だった頃。社員旅行の船の上で、頭の上にエサを置いて見事にカモメに掻っ攫わせたことがあります。いつも人を笑わせ続ける彼ならではの一場面でした。ユーモアセンスと面倒見の良さで、関西ブロックを引っ張っています。

職人の無人島 レポート16

新章突入！いよいよ近づくサマースクール。「花まる子ども冒険島」で子どもたちを受け入れるため、カトパンと職人の新たな挑戦が始まりました。

醤油メシ②

一度行ったことがあるとはいえ、島の山頂へ向かうのは容易ではなかった。前に通ったルートはすでに消えかけていたし、痕跡が残っていたとしても鬱蒼とした森の中ではそれに気づくことができない。元々、行きと帰りで同じ道をたどれないような場所なのだ。おまけに山道。おまけに大荷物。ただでさえ厄介な要素が3つも重なっている。普通なら、ジャングル＋山道＋大荷物＝行かない、が正解だろう。しかし我々は違う答えを求めた。草を踏み倒し、枝を切り払い、イバラに引っかかれながら、巨大なコンテナを山頂に運び上げていく。

途中、木々の隙間から黄色く色づいた実が覗いているのを見つけた。ビワである。山の幸。これはすぐに調査だ。「調査！」とさっそくビワの木の根本まで斜面をよじ登り、実をもぎ採った。巨峰くらいの大きさ。グローブを外して皮をむき、食べても問題なさそうか見た目を確かめる。よし。口の中へ入れると、天然の甘みと香りが広がった。人の手が加わっていない果実の味。種が大きく果肉は少ないが、想像よりも甘くみずみずしい。これは何個でもいけちゃうな〜、とカトパンと新しい食材の発見を喜んだ。

見上げると、一面の暗緑の中で黄色い実が点々と星のように実っている。これなら子どもたちに行き渡る量が採れるだろう。本番の夏まで、持てばいいのだが。

それにしても「踏み出せばその一歩が道となる」とはよく言ったものだ。道なき道を行く人間の思考と行動、つまりは言語と運動の状態をよく表している。言行一致、文武両道、イン&アウト。自然が新たな気づきを予感させる。なおも進んで行くと、ようやく山頂にたどり着いた。コンテナを下ろして一息つく。遠くに海が見えた。海抜68m。正に海面から山頂までを登り抜いた。これで1つ目のミッションは完了である。

しかし、山でのミッションはあと2つある。水源と食材の調査と、危険エリアのマーキングだ。体力が残っているうちに一気にやってしまいたい。そこで、島内を歩き回って危険な場所に印をつけながら、その道中で水と食材を探すことにした。

いいかい。危険な場所というのは、たとえばその先が崖になっていて転落の危険があるような場所のことだ。ほかにも、落石や土砂崩れがありそうな場所や、朽ちた大木が倒れてきそうな場所を指す。ふむ。そういう場所を見極めて、蛍光色のテープを木に縛りつけていくことで危険が視認できるようになり、子どもの安全が保たれる。ふむ。でもあれ？よく考えてみると「それ以上進むと危ない所に目印をつける」には、「それ以上進むと危ないところまで行く」必要があるよなあ。あるよ。じゃあ最初の人が一番危ないじゃないか。（0・8秒）

「行くんだ、カトパン」

（つづく）

あの印の下は崖

ビワ。小さい分、食べきれないほど実がなる

カトパン　加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深く関わってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。

職人　橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から、「職人」のミドルネームを持つ。その経験を元に、野外体験「ものづくりの国」、オンライン工作教室など、独特なイベントを担当している。家具製作技能士、狩猟免許など、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。今回、趣味のキャンプ経験を買われ、無人島開拓に喜んで参加した。

花まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールＦＣ　♪ …アノネ音楽教室　アルゴ …アルゴクラブ　🌐 …オンライン　🌴 …無人島　Flos …フロス

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！

相澤 樹

茨城　千葉県

青山 裕介

埼玉　新潟県

伊藤 潤

東京東　FC　埼玉県

岡 裕介

埼玉　🌐　東京都

樫本 衣里

中京　🌐　奈良県

小林 駿平

埼玉　🌐　長野県

佐藤 達也

神奈川県南　東京都

高津 奈都子

埼玉　埼玉県

髙橋 駿輔

茨城　東京東　山形県

田邊 紘子

埼玉　新潟県

野澤 直紀

埼玉　埼玉県

土方 日向

埼玉　東京都

真島 健一郎

神奈川県北　神奈川県

松田 な奈

埼玉　埼玉県

村井 美月

埼玉　♪　愛知県

山﨑 隆

東京東　千葉県

渡邉 栄治

千葉　熊本県

高濱 正伸　……リーダーネーム

……名前
……所属

○○○　熊本県　……出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね！

7月の誕生花は ゆり

山岸亮太・あなご｜アジア文化を心底愛する青年。大学生の頃から「インドネシアで仕事をしたいです！」と言い続けていましたが、ソトシルクラスを創設することで、夢の第一歩を踏み出しました。単身ジャカルタに引っ越し、新しい教育を構築・発信し続けています。乞うご期待！

花まるの教室長を紹介します！

花まるファミリー

FC …スクールＦＣ　♪ …アノネ音楽教室　アルゴ …アルゴクラブ　🌐 …オンライン　🌴 …無人島　Flos …フロス

みんなの教室長も順番に紹介するよ。お楽しみに！

泉 奈津穂

千葉　兵庫県

井上 笑里

東京東　埼玉県

大塚 寛子

神奈川県北　熊本県

小川 凌太

千葉　東京都

加藤 千尋

東京東　埼玉県

清岡 悠河

神奈川県北　神奈川県

坂田 翔

東京東　山口県

田畑 敦子

東京東　埼玉県

根本 沙織

東京西　千葉県

水口 玲

埼玉　北海道

吉田 優太

東京西　大阪府

福島 龍

東京西　東京都

高濱 正伸

○○○　熊本県

リーダーネーム
名前
所属
出身地

サマースクールや雪国スクールで会おうね！

8月の誕生花は ひまわり

タカタコ

高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめに紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他己紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまるっと紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに！